



# 牧中だより

平成30年7月20日

高岡市立牧野中学校

第3号

## 校長室のとびら

— 学校は安全・安心!? 牧中の危機管理とは —

夏本番を迎えようとしています。熱中症など体調管理には十分な気配りが必要な時期です。さて、今回は牧野中学校における危機管理についてお話します。過日、奥田小学校で起こった凶悪事件は私たち教師にとって大きな衝撃でした。かつての大阪教育大学附属池田小学校の事件もそうでしたが、抵抗できない幼い子供たちに殺意が向けられたことに怒りを抑えようがありません。このような事件がいつ、どこでも起こりえる世の中になってしまったとは思いたくはありませんが、日頃からの危機管理がとても重要であることは間違いありません。

保護者の皆様にとって、学校は安心して子供を託せる場でなければなりません。奥田小の事件の報道の中で、「あなたたちの命は先生たちが守るから…」といった内容の発言が賞賛して取り上げられていましたが、これは私たち教師にとっては当たり前の言葉です。教職員の命を守ることも校長の責任ですが、何よりも子供たちの命が最優先です。一方、牧野中学校にも危機は発生します。子供たちの安全や安心を脅かす可能性のあるものはすべて危機です。直近のものでは、部活動中に熱中症を発症し救急搬送したこと、校内にカラスが侵入したこと、給食室の外壁にアリが大量発生したこと等、危機対応は学校運営上最も重要な位置を占めています。不審者侵入、災害対応、給食の異物混入、怪我や体調不良といった危機を予測し、未然に防止すること（リスクマネジメント）と危機を最小限に抑え再発を防止すること（クライシスマネジメント）を含めた危機管理マニュアルを策定し、全教職員で共通認識を図っています。例えば、これから発生が心配される熱中症については、①活動中に適切な水分（塩分）補給と休憩時間をとる。②熱中症の症状を確認したらすぐに応急処置（養護教諭も対応）を行う。③意識障害やけいれんがある場合は校長の指示を待たずに救急搬送する、以上のことを徹底しています。また、管理職への迅速な連絡体制もマニュアル化され、意識障害やけいれんがなくても、高熱など状況により校長が救急搬送を指示する場合があります。

危機管理に関して想定外という言葉は学校として使ってはならない言葉だと思います。拳銃をもった不審者も想定内として危機管理を進めていかなければなりません。事件・事故・災害を問わず、子供たちの命を守ることは学校にとって最優先すべきミッションです。「先生は必ず子供たちを守ってくれる。」保護者の皆様にそのように信頼される学校であるべく、これからも全教職員一丸となって不断の努力を続けていきたいと考えています。



# 第1回ノーメディア・チャレンジ・ウィークを終えて

6月22日(金)～7月2日(月)に実施されたノーメディア・チャレンジ・ウィークの取組の結果をお知らせします。

○どのコースにチャレンジしたのでしょうか。(%)

コース	内 容	1年	2年	3年
1	食事(夕食)の時だけノーメディア	38.8%	22.6%	21.2%
2	メディア1日2時間まで	34.3%	41.7%	28.8%
3	メディア1日1時間まで	20.9%	19.0%	30.8%
4	学校から帰った後、ノーメディア	1.5%	8.3%	7.7%
5	朝から寝るまでノーメディア	1.5%	3.6%	3.8%
6	その他	3.0%	4.8%	7.7%

○ 家庭でチャレンジすることができましたか。(%)

チャレンジの結果	1年	2年	3年
できた	22.4%	34.4%	23.1%
まあまあできた	67.2%	52.2%	42.3%
あまりできなかった	8.9%	11.9%	26.9%
できなかった	1.5%	1.5%	7.7%

## 生徒のコメントより

【1年】

- ・チャレンジウィークでない日も、自分でしっかり時間を決めて勉強に取り組みたいと思う。
- ・私はノーメディアができたけれど、家族みんなでチャレンジできなかったのが残念です。次は家族みんなで頑張りたいです。

【2年】

- ・中間テストよりもメディアを使わずにテスト勉強に取り組めてよかった。テスト期間じゃない日や夏休みにもチャレンジしてみようと思った。
- ・前回よりも厳しいコースで取り組めたのでよかった。

【3年】

- ・今回はワールドカップと重なって大変だったけれど、自分なりにやる時には集中して取り組めた。
- ・期間が長かったけど、勉強するときはメディアを見ずに集中してできたのでよかったです。

## 保護者から

【1年】

- ・いつもはテレビを点けて夕食をしますが、テレビを消して会話をしながら食事ができました。
- ・集中して学習することができました。ノーメディアチャレンジウィークだからではなく、家族で毎日取り組んでいきましょう。

【2年】

- ・普段はなんとなくテレビを点けたまま生活をしています。テレビを消すと静かで、子供たちと落ち着いて会話ができます。
- ・チャレンジウィークは終わりましたが、これで終わるのではなく、ずっと続けて欲しいと思います。

【3年】

- ・テストが終わっても、メディアを上手に利用して集中して学習できるよう、家族で協力したいです。
- ・自分から時間を作り、学習に取り組めていてよかったです。決めたコースを家族のみんなに伝え、その日のテーマとして、みんながそれぞれに意識してチャレンジすることができました。